



— 生徒代表挨拶 —

創立 160 周年記念式典

平成 24 年 11 月 3 日



創立者三翁展示コーナー
記念展示

NO. 31

創立一六〇周年 記念式典

穏やかな小春日和に恵まれた十一月三日(土)、いよいよ記念式典の日を迎えた。

朝九時より記念展示室を開館し、続々と参観者が訪れた。正午には記念講演の講師、東京大学名誉教授谷口維紹氏が来校され濱口梧陵前で、実行委員と一緒に記念写真を撮影した。午後一時から受付開始。多くの来賓、一般参加者を迎えた。

午後一時三〇分、本校体育館において、来賓及び一般参加者、教職員、生徒など約一、〇〇〇名の参列のもと、古川真祐子氏(高54期)の司会進行で記念式典が始まった。

有本大副実行委員長の開会宣言、国歌・校歌斉唱に続き堀潔学校長の式辞。本校の歴史や創立の時代背景を顧みるとともに、「先輩の皆さんが築き上げてこられた光輝く伝統を、今ここに学ぶ生徒が享受し立派に受け継ぎな



堀 校長 式辞



仁坂 吉伸 和歌山県知事



司会・古川真祐子氏



下野実行委員長

がら、本校のさらなる栄光の礎を確立してほしい」と述べた。

続いて下野憲英実行委員長より、「一六〇周年を新たな出発点として、伝統の灯を燃やし続け校訓である『真・健・美』の精神をしつかり受け継ぐと共に、そのうえに新しい歴史を築き上げ、更なる発展に努めていきたい。」との挨拶があった。

次に、来賓としてご臨席された和歌山県知事仁坂吉伸氏、衆議院議員西博義氏、和歌山県議会副議長浅井修一郎氏、和歌山県教育委員会教育長西下博通氏より、本校の栄誉を讃えるご祝辞を頂戴した。

次に、法眼貞子実行委員より堀潔学校長に、通用門アプローチ(インターロッキング設置)寄贈目録贈呈を行った。

続いて、生徒代表挨拶。在校生を代表して、生徒会長の上野山貴也君が、「一六〇年という長い歴史の中で、本校が発展し続けることができたのは、先輩方の努力の積み重ねによるものであり、今耐久高校で学んでいることの幸せと、大きな責任を感じている。これから現役の耐久高校生が、『真・健・美』の校訓



目録贈呈

のもと、勉強にクラブに、ボランティア活動などに頑張ってきたい。」と決意を述べた。最後に、柏原政夫実行委員の閉会宣言により、厳粛の内に記念式典が終了した。

創立一六〇周年 アトラクション

式典に続いて記念アトラクションが行われた。

始めに、法眼貞子氏(高19期)と中村由美氏(高33期)による朗読「濱口梧陵物語」があった。

昭和一二年から一〇年間国定教科書に掲載された「稲むらの火」の一部

を紹介し、幼少期から青年期の文武両道の修行時代、私塾の「稽古場」開設(現在の耐久高校)、開設二年后に安政の南海地震が発生し「稲むらの火」で村人を救助した話。初代の郵政大臣、初代の県議会議長など近代日本の発展に貢献され、海外渡航途中のニューヨークで客死されるまでを切々と朗読し、「梧陵翁」の遺徳を偲んだ。



続いて、本校マンドリン部の演奏に合わせ広小学校六年生の「津波から村を守った男の話」の合唱が行われた。美しい演奏と大きく堂々とした歌声に参観者は感銘を受け、会場は大きな拍手に包まれた。



支 部 連 絡 先	有田耐久会 会長 柏原 政夫美 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148	関東耐久会 会長 九鬼 利郎 〒160-0022 東京都新宿区新宿1-3-12-1002 株式会社 オフィスコ コロパケット Tel 03-3359-9520	和歌山耐久会 会長 田辺 善彦 〒640-8144 和歌山四番丁26番地の2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	関西耐久会 会長 萩 平 勲 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-3-17-301号 ビジネス インテグレート(株) Tel 06-6941-8282
	同窓会のホームページ URL http://www.taikyuh-wakayama-c.ed.jp/obroom/obindex.htm			

※アトラクションのエピソード

本校下野憲英同窓会長はじめ役員が、平成二二年一〇月一六日、広川町で開催された「稲むらの火祭り」に初めて参加し、そのセレモニーで歌われた広小学校六年生の合唱に、役員一同感動して聞き入った。その時、是非この合唱を二年後の創立一六〇周年のアトラクションとして実施したいと思い、広小学校へお願いに伺った。

その翌年の平成二三年三月一日、あの忌まわしい東日本大震災が発生し、母校の創立者でもあり「稲むらの火」でも知られている「濱口梧陵翁」の遺徳が、国内外で一躍脚光を浴びた。教科書にも六四年振りに採択され、防災教育の必要性が叫ばれているなかで、この記念アトラクションが行われた。

創立一六〇周年 記念公演

人学名譽



皆さん方へのメッセージと題して、熱氣溢れる講演が行われた。

谷口氏は東京教育大学理学部を卒業後、スイスチューリッヒ大学大学院博士課程を修了された。職歴として、癌研究所で六年間、大阪大学細胞工学センター教授として一一年間、平成七年より東京大学医学部教授として招か

れ、以来十七年間教授として活躍され、平成二四年三月に退職される。平成二四年四月より東京大学生産技術研究所特任教授、東京大学名誉教授として、世界最先端の研究に取り組みと共に、学生の教育や教職員の指導にも力を注いでいる。この間、ウイルスや細胞の増殖を阻止・抑制をするインターフェロン、免疫系の調節を行うインターロイキンの物質の研究・解明で世界的に認められ、分子生物学の権威あるロベルトコッホ賞、和歌山県文化賞、日本学士院賞、米国アカデミー外国人会員、文化功労者顕彰等多くの賞を受賞されている。

旧清水町（現在の有田川町）の複々式の小学校で学び、耐久高校に進学することを夢見ていたという話から、テニス部、新聞部に所属し、クラスの代表として熱演した予餞会など楽しく過ごした高校時代の話。そして、ノーベル物理学賞を受賞した朝永振一郎博士に憧れて東京教育大学に進学した話。ナポリ大学、チューリッヒ大学、ハーバード大学で世界的に有名な博士達と切磋琢磨した研究生活の話。中でもアインシュタインの語録を紹介し、「好奇心を持つこと、自分自身で経験すること、空想すること、間違いを恐れないこと」など多様な能力を磨くことの大切さを話された。

分子免疫学では、DNA、自然免疫・適応免疫、ウイルスとインターフェロン・インターロイキン2について、ジエンナー、パスツール、北里柴三郎博士の逸話を入れながら、専門的な医学の話を写真や図を使って分かり易く説明された。さらに癌の治療法については現在、手術・放射線療法・化学療法・免疫療法がある。最近では免疫療法が世界的に注目されており、前立腺がんの臨床医学例を紹介し、新しい治

療法を詳しく話された。八年前よりアメリカの癌学会の国際問題検討委員会の座長として、ヨルダン、インド、中国など世界各国の研究者と「それぞれどの国や立場は違っても、求めるものは同じである。」との認識で、世界共通の敵である癌の研究をしていきたいと語った。

そして、世界で一人しかいない自分自身を誇りに思い、仲間と共に学び、お互いに異なる価値観を許容しながら新しい価値を創造していく「寛容の精神」の大切さを強調された。最後に、東大安田講堂の銀杏の太木について話をされた。大木が育つには、太い幹・根っこ（基礎研究）がなければならず、それに葉（新しい医療の研究、薬の提供等）をつけ、外に向かってアピールしていく。そしてもう一つ、銀杏の木は何を目標として伸びているのか。天を目標としている。天に届けと思っているから、銀杏の木は伸びる。

「皆さんも夢を持って、多くの友達を作って、日本や世界のことを考え、新しいこれからの世界的な潮流の中で、色々な分野で活躍してほしい。」と、熱いメッセージを贈った。



第7回 ゆあさ行灯アート展
 日時 4月17日(水)~22日(日) 18:30~21:00
 場所 湯浅町重要伝統的建造物群保存地区
 問い合わせ先 グリーンソサエティ
 三ツ村 0737-63-0401

則岡 宏 牟
 (高18期)
 www.sunnyside-nn.net

総合ビルメンテナンス業
(株)ウイキャンコーポレーション
 代表取締役 岡 伸 彦 (高14期)
 社長 岡 勇 作 (高19期)
 大阪市旭区中宮4丁目14番9号
 TEL 06-6954-0346
 FAX 06-6954-0577

株式会社 柏原運送
 柏原 政夫美 (高19期)
 〒643-0032 有田郡有田川町天満 60-1
 TEL (0737) 52-5235
 FAX (0737) 52-5630

母校への、ご理解とご支援を！

創立一六〇周年 記念展示

記念展示は、式典前日と当日の二日間、体育館近くの2教室で開催された。

展示教室1では、「創立者三翁」「中興の祖」「私立耐久中学初代宝山良雄校長」「濱口梧陵像の鋳型(半身)」「旧中絵はがき」「旧中有田高女写真・アルバム」のコーナー、展示教室2では、「すばらしい先輩」「稲むらの火・新旧教科書」「国会法案資料」「耐久一六〇年の歩み」「書道部作品」「歴代校長の書」「全職員による校歌揮毫」「創立一五〇周年・創立一六〇周年航空写真」のコーナーが設けられた。

展示教室1の創立者濱口梧陵、濱口東江、岩崎明岳の三翁とその遺志を受け継ぎ、耐久社再興を志した濱口容所翁の展示コーナーには、当時の「学則」や福沢諭吉からの書簡等が展示された。創立への熱意、高い



教養、そして時代の先覚者であったことが偲ばれる格調高い展示であつた。

展示教室2の「すばらしい先輩」たちを紹介するコーナーは、〈政治・行政〉〈産業・経済〉〈学術〉〈芸術〉〈学校関係〉の各界で活躍された、現在も活躍されている先輩たちの写真、経歴、文獻、作品等を展示し、すばらしい業績を紹介した。

「書道部作品」は、旧中・高女・高校の「校歌」を書道部が力強く書き上げた。

期間中、全校生徒、同窓生ら約千名が観覧し、足を止めて興味深そうに見入っている姿も多く見られた。

なお、「稲むらの火・新旧教科書」

「国会法案資料」「旧中絵はがき」の展示品は西博義氏(高19期前衆議院議員)より寄贈された貴重な資料である。



「真・美・健」校是の由来

周知の如く昨年十一月三日、耐久高校は創立百六十周年の盛儀を迎え、多数の参加者で賑わいました。

開校以来百六十年の間には「稽古場時代」「耐久舎(学舎)時代」等の変遷がありました。明治三十六年に寶山良雄校長を迎え(杉村楚人冠氏の推薦)次いで明治四十年十二月付けの「官報文部省告示」「私立耐久中学校を和歌山県有田郡廣村大字廣に設立し明治四十一年一月より開校の件認可せり」との発表で一般中学校と同等の位置に立つことになりました。

寶山校長の教育方針は、「卒業生を一個の人間らしい人間として教育しよう、即ち有名な人間よりも有用な人物を養成するにあり。」とし、日々の実践目標を設定し、自ら先頭に立つて推進に当たりました。

如何にして独立自治の精神を養うか

- ① 一人の小使を置かず
- ② 寄宿生と共同自炊
- ③ 生徒監督の規則を設けず
- ④ 寄宿舎各室は自治制
- ⑤ 喇叭も鐘も鳴らず
- ⑥ 寄宿生に門限なし
- ⑦ 欠席届を強いず
- ⑧ 金銭は自由に出納す
- ⑨ 農業・労働を行う
- ⑩ 労働会の設置
- ⑪ 試験に重きを置かず

如何にして實際的知識を養うか

- ⑫ 理化学器械多し
- ⑬ インキ・歯磨きの類を造る
- ⑭ 気象観測所を設く
- ⑮ 社会問題を問題となす

如何にして人格を修練するか

耐久が有用なる国民を創る上に於いて必要な綱領として三個の旗幟あり、曰く『真』・『美』・『健』是れなり。

『真』、心理研究の精神を養い、真心発揚の法を訓練する為

『美』、天地の美・人情の美を尽くし、他人に対する敬愛の動作を失わない最高のものを學ぶ為

『健』、意志強固・奮闘活動の国民を創る為

以上三者合わせて「一」となる。是れ学校の精神なり。教職員及び生徒を以て【三一會】を組織し、目的に向かつて努力しつつあり。

- ⑯ 心理の研究・真心の発揚
- ⑰ 美意識の涵養
- ⑱ 意志・身体の鍛練
- ⑲ 父兄・生徒・教職員・学校の関係
- ⑲ 父兄と学校の関係
- ⑳ 教職員皆献身的

以上三項目・⑳小項目に亘り「真・美・健」の精神を如何なる形で具現しようとしたかの骨子を紹介しました。次号(第三十二号)において今一度その実践の詳細について資料をもとに報告したいと思ひます。

齋藤 春太郎(旧中40期)

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意下さい。

総務部

創立 160 周年記念事業実行委員会収支決算書

①収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	増減	摘要
繰入金	4,000,000	4,000,000	0	同窓会 3,000,000 PTA1,000,000
寄付	1,050,000	1,528,000	478,000	寄付 松本綾氏他3件 祝儀 有田高女同窓会他16件
記念品売上	1,212,000	1,348,000	136,000	1,348 部
諸収入	1,000	1,456	456	利息
合計	6,263,000	6,877,456	614,456	

②支出の部

科目	予算額	決算額	増減	摘要
消耗品費	200,000	190,974	9,026	金銭出納簿・実行委員長印・色紙・記章他
食糧費	150,000	209,104	△59,104	役職懇談会・教育懇談会 他
印刷製本費	300,000	285,754	14,246	案内状・封筒・返信ハガキ・パンフレット
通信運搬費	100,000	33,110	66,890	案内状・礼状・振込手数料
広告料	200,000	0	200,000	
委託料	850,000	782,770	67,230	航空写真・記念図書カード
講演 アトラクション 関係費	300,000	224,150	75,850	講師謝金・広小学校児童送迎費用 他
旅費	300,000	299,240	760	記念講演講師 他
諸費	925,000	665,000	260,000	記念品購入
工事請負費	2,350,000	2,348,955	1,045	インターロッキング設置工事一式
会場設営費	300,000	137,937	162,063	花代（体育館/校長室/応接室/花束） 会場設営用消耗品他
予備費	288,000	150,000	138,000	同窓会報「特集号」補助
合計	6,263,000	5,326,994	936,006	

①収入の部 6,877,456 円－②支出の部 5,326,994 円＝ 1,550,462 円

耐久高等学校創立 160 周年記念事業実施に当たっては、各方面より過分のご厚志を賜り、誠に有り難うございました。また、記念品（ハンドタオル）売り上げにも、多大のご協力を賜り、御礼申し上げます。

記念事業につきましては、不行き届きの点もあったかと存じますが、無事完了いたしましたので、上記の通り決算報告をいたします。

なお、残金 1,550,462 円につきましては、繰入金の割合にしたがって、同窓会会計へ 1,162,962 円・PTA 会計へ 387,500 円返戻させていただきました。



記念図書カード



「真・美・健」の石碑（広川町立耐久中学校）

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。（事務局）

特集

耐久の校名はこうして残った



吉田 元重 (旧中43期)

耐久中学校に入学を許可され、真白い3本の線に三星章の戦闘帽をかぶり、私は意気揚々と毎日湯浅駅からレンガ造りの塀がある大きい3階建の屋敷(東浜口家)の前を通り通学することになった。

1年生の最初、クラス全員(私は甲組、乙・丙の3組編成)が校長室に呼ばれ、ここに掲げられていた梧陵翁の大きい油絵の前に並び、滝田校長からこの絵の謂われと開学の精神の話の緊張して聞いた。また、開校記念日には全生徒が整列してお墓にお参りし、梧陵翁を偲んだものである。

昨年11月3日。耐久高等学校創立一六〇年記念の式典があった。多くの来賓の方々からご祝辞を頂いたが仁坂県知事の祝辞が最も私の耳に

こつた。それは知事の母校は桐蔭高校であるが、その前身は伝統のある和歌山中学校であり、校名は妄りに変更すべきでないといわれたことだ。

終戦後、和歌山県の中学校の校名が次々と変えられた。その理由は不明であるが、上に述べたように和歌山中学は桐蔭高校に、海草中学は向陽高校に校名が変更されたのである。海南中学のように校名に市名を掲げている場合は変更しなかつたらしい。そうすると我が耐久中学はどうなるのかと友達同士で話し合っていた。中学3年のある日、担任から今日、進駐軍が学校を視察に訪れるといわれた。戦時色のある木銃を急いで天井裏に隠すやら大騒ぎをした。そしてきつと校名が変えられると思った。

昼前であつたらうか、2台のジープが校門から入ってきた。とうとうやつて来た! 私は2階の窓越しにそれを見つめていた。 余り時間が

経過していなかったと思うがジープが帰っていった。

英語の時間に先生(お名前は失念)が自慢げに「私の英語はアメリカ兵に通じたよ」と話してくれた。その内容はこうである。

進駐軍の兵隊が校長室に入つてすぐに、正面に飾っているナイヤガラ瀧の前に悠然と腰掛けた梧陵翁の大きな油絵を見て、これは何か説明せよと言われたそうである。英語の先生は梧陵翁のことを詳しく話した。するとすぐ「OK」といって他には何も要求せずに帰っていったと話してくれた。生徒のわれわれはほっとすると共に、なるほどと理解した。それから校名変更の話は全く聞かなかった。耐久の校名は残つたのである。創立一六〇周年記念に当たり、われわれは創立者梧陵翁の偉大な業績と共に、この油絵にも感謝しなければならぬと痛感した次第である。

プロフィール

- ・ 由良町出身
- ・ 旧中43期、高校2期卒
- ・ 本校理科(生物)勤務
- (昭和43年〜平成2年)
- ・ 元県立自然博物館審議委員長

同窓会活動報告

2012(H24)年

11. 3 創立160周年記念式典
- 22 創立160周年反省会
12. 3 四役会
- 19 会報編集委員会

2013(H25)年

1. 2 組織強化支援事業高33期同窓会 (橋家)
- 2 組織強化支援事業高61期同窓会 (鮎茶屋)
- 31 会報編集委員会
2. 7 本部役員会・新年会
- 28 卒業生クラス代表との懇談会
3. 1 第65回卒業証書授与式

情報ボックス

今秋、本部同窓会及び有田耐久会総会を開催します。
日時・場所は決定次第ご案内しますので、是非ご参加下さい。

ペットと泊まるログハウスの宿
パートナーズハウスゆあぞ
横山 享
(高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

ファッションアパレル
クルーズカンパニー
株式会社
取締役会長 土岐康二(高7期)
大阪市中央区北久宝寺町
TEL (06) 4705-3377

DUNLOP
は ダンロップタイヤ近畿株式会社
有田営業所
643-0005 有田郡湯浅町大字栖原字横田82
TEL (0737) 63-4001 FAX (0737) 63-2993
E-mail: 62062631@knk.dunlop-falken.co.jp
応援しています
下野 憲英 (高13期)

電気工事・浄化槽維持管理
各種水道設備工事
古川総合設備
有田市古江見75-5
TEL (0737) 82-4466
FAX (0737) 82-2888

森岡印刷
森岡 聖史郎(高33期)
有田郡湯浅町789(道町南)
TEL 0737-62-2023
FAX 0737-62-3464

関東耐久会

関東耐久会バス旅行『貸切バスで巡る半日東京観光と親睦会』開催

秋たけなわの10月28日、関東耐久会のバス旅行が開催されました。参加者は17名で小型バスでの移動となりました。

11時に大手町のサンケイビルを出発し、最初に向かったのは、3月に完成したばかりの東京スカイツリー。かつての地名である『武蔵の国』に因み、高さは634メートル。空高くそびえる塔を間近に見ながら浅草へ。浅草では、バスを降りて境内や仲見世をしばし散策。その後、上野・谷中・根津・本郷の歴史ある街並みを通して、一路、九段の「昭和館」へ。この建物は、戦中戦後の国民生活の様々な資料が集められ、展示されており、職員の方の説明を聞きながら館内を見学。和歌山の田舎で過ごした子どもの頃の思い出を語り合いながら、激動の昭和を振り返るひとときとなりました。

次に、いよいよ今最も話題のスポット、「東京駅丸の内駅舎」へ向かいました。大正時代の壮麗な姿が復元され、堂々とたたずむ丸の内駅舎と、同時にオープンしたステーションホテルも合わせて見学することになりました。前郁夫副会長の特別のお計らいにより、さわやかなホテルマンが関東耐久会一行を、ホテルの奥深く案内してください、素晴らしいホテルの内部を見学することができます。

今回のバス旅行も見学はこれで終了となり、親睦会の会場である港区のホテルのレストランへ到着しました。眼下に、浜離宮、東京湾、隅田川を一望しつつ、フランス料理に舌鼓しながら和やかに歓談、別れを惜しみながら散会しました。

(富山 節子)

関東耐久会 秋のゴルフ大会

昨年は東日本大震災のため、関東耐久会の全ての行事を中止としましたが、今年は例年通り残暑の厳しい九月九日に開催しました。

場所は、あのアーノルド・パーマーが設計した栃木県の真名子カントリークラブで参加者は54歳から78歳の10名とやや高齢で少人数でしたが、日頃の練習の成果を発揮し無事終了することが出来ました。

当日の成績は、新ベリア方式で算出した結果、優勝は前副会長、ベストグロスは最高齢の九鬼前会長でした。

プレー終了後、クラブハウスにて懇親会及び表彰式を行い、来年もこのメンバーのほかに参加者を募り実施することを確認し散会としました。

関西耐久会

関西耐久会総会のご案内

とき 平成25年10月5日(土) ところ ホテル大阪ベイタワー

ホテル大阪ベイタワー

竹中勇記彦氏を悼む

湯浅町出身、本校昭和四十五年卒業の名古屋音楽大学教授竹中勇記彦氏が昨夏7月19日ご逝去されました。ウィーンでの華々しいリサイタルから僅か8年、演奏家にとつていよいよ円熟期に入る矢先だっただけに、本人は勿論私達にとつても大変なショックでした。

若い頃から自主企画のリサイタルの他「喝采のコンサート」「名古屋音大オーケストラ定期」「トヨタコミュニケーションコンサート」「モーツァルトピアノ協奏曲連続演奏会」「NPO法人SKIPとのモーニングコンサート」等々多方面に渡り活躍。和歌山市でも二〇〇五年にはウィーンフィルハーモニーの第一コンサートマスター ライナーキユツヒル氏率いるアンサンブルと共演(スマトラ沖地震津波被災者チャリティコンサート)その後もプラハカメラータと共演し好評を博しました。

国内でも金沢 名古屋等で精力的に活動していましたが病には勝てず六〇年の生涯を閉じました

尚、最後までこだわっていた有田の地で 門下生が中心になり追悼演奏会を開催する事になりました。

日時 三月二十四日(日)

十四時

場所 きびドーム

時間の許す限りお越し頂ければ幸いです。ごさいます。

伏木富紀子(高女22期) 台掌





高61期

高校61期同窓会を終えて



高校卒業後初となる平成二十一年卒業生の同窓会が一月二日、鮎茶屋にて開催されました。卒業生146名と各組の担任の先生方6名(若野、川口勉、野村、小林、児島、井口先生)のご参加をいただきました。

まず、幹事を代表して私が挨拶し、二年前に亡くなった出口純也君(軟式野球部主将)を偲び、全員で黙祷を捧げました。その後司会を野田君、岡川君に譲り、各クラスで談笑し、お世話になった先生方(現在も耐久におられ

る8名)からのビデオレター、ビンゴゲームを行いました。クラスごとに席に着き、それぞれ担任先生を囲み、就職の話や高校時代の懐かしい話に花が咲きました。卒業して四年が経過しても、高校時代と変わらぬ笑顔で、同窓会を楽しむ光景が見られました。

先生方からのビデオレターでは、8名の先生方にご協力をいただきました。ビデオレターから流れるメッセージに会場は大盛り上がり。また、ご出席された先生からも挨拶をいただき、まるで全員が高校時代にタイムスリップしたような雰囲気になりました。引き続きビンゴゲームでも、液晶テレビやノートパソコン、iPodなどの豪華景品が当選するなど、みんなドキドキしながら楽しくゲームに参加していました。

最後は全員の集合写真撮影。そして、各クラスごとの写真撮影を行いました。撮影する際は自然と距離が狭まり、心から満面の笑顔になっていたのが印象に残っています。三時間という短い時間でしたが、懐かしい高校時代の思い出がよみがえってきました。

今年の春より、私達の同期生のほとんどは社会人となります。このような素晴らしい思い出を大切に、また今後の出会いを大切に、それぞれの人生を歩んでいこうと決心しています。私自身、関東で高校教員となり、和歌山を離れますがいつの日か今より成長した姿で再会したいと強く願っています。

幹事代表 阿部 智之



高17期

高校十七期同窓会



長く続いた残暑も去り秋の深まりを感じさせる、十月二十一日(日)に和歌山市のホテル「アバローム紀の国」において昭和四十年卒業の第十七期同窓会を開催しました。

私たち同期は四年に一度、オリンピックの開かれる年に全クラスに呼びかけて開催していますが、今回は六十五名(男子三十四名・女子三十一名)の参加を得て盛大に開催することができました。

開会に先立ちホテル内のスタジオで集合写真を撮影し会場へ移動、座席の抽選くじを引き各々のテーブルへ着き、物故者のご冥福を祈り黙祷を捧げました。

開会のスタートは全員で声高々に校歌を斉唱する。続いて挨拶を兼ねて司会者から参加者へのお礼と、母校の創立百六十周年記念式典等の報告や事務連絡を行い、戸石昌男君の乾杯の発声で久々

損害保険・生命保険・ファイナンシャルプランナー事務所
和歌山FP総研
代表 川島忠弘 (高37期-S60年卒)
wfp-soken@ares.eonet.ne.jp
http://wakayama-fp.com

小畑産業株式会社
代表取締役 小畑英三 (高18期)
〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
ei-kobata@kbtis.jp

株式会社 和通
代表取締役 中田 實 宏 (高17期)
〒640-8341 和歌山市黒田279-4
TEL 073-475-0310 FAX 073-475-0320

田辺法律事務所
弁護士 田辺 善 彦 (高14期)
〒640-8144 和歌山市四番丁26番地の2
TEL 073-431-2801 FAX 073-433-2299

同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!
有田川温泉 **鮎茶屋**
有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151

◆ 地元、有田耐久会にご入会を! (お問い合わせは事務局 0737-62-4148)



五十歳の再会～人生の扉を開けて～



2013年になったばかりの2日夕刻。昭和五十六年卒業の第三十三期生一二〇名が、宮原町「橘家」に集った。卒業後初めて参加した人、創立一五〇周年記念の同窓会以来十年ぶりの人など入り乱れて、大盛況でにぎやかな宴が催された。

各クラス(当時9クラスありました)から2名ずつで編成した幹事チームが準備と運営に奔走し、恩師先生方3名にも参加していただけた。当時一組担任だった小林光洋先生にご挨拶いただき、四組副担任の吉松敏隆先生の乾杯の御発声で笑顔あふれる「しゃべり場」が始まった。今回のコンセプトは「この会をきっかけに、みんなが集う機会が増え、さらに交流が深められればいいよね。まずは、今日をスペシャルなものに!」。その通り、誰もかれもが時を忘れて話の花を咲かせていた。

幹事チームが思いを込めて作成したスライドショー「我らが耐久」写真集(現代版)、「替え歌にして盛り上げた「耐久LOVE SONG」「耐久つれもて音頭」、女性陣のダンス付き「亜麻色の髪の乙女」、新春福引き抽選会など特別企画もてんこ盛りの楽しい会となった。

残念ながら会場に来られなかった仲間たちへの思いも交えながら、長い年月を越えて久しぶりに語り合う姿は、高校時代に想像した自分たちの姿だっただろうか?

五組副担任の薮添泰弘先生にも舞台上で感想を語っていただき、それを聞きながらふと高校生の頃に戻って授業を受けているような感覚になったのは私だけではないかもしれない。竹内まりやが歌う「人生の扉」を心に響かせながら五十歳の再会は和やかな中にも盛会に終了した。

"We feel it's nice to be 50, and we still believe it's worth living."
"It will be great that we may come together in five years!"

(☆この同窓会を開催するにあたり、耐久高校事務室をはじめ本場に多くの方々にご助言、ご協力を頂けたことに対し、末筆ながらこの紙面をお借りしてお礼申し上げます。)

幹事団代表 宮崎 裕之
櫻村 明子

の集いを喜び、暫し食事と歓談の時間を楽しむ。宴会の途中で田井和夫君と地引民子さんの同窓生コンビ「網・鯛ツー」(コンビ名はお二人の名前に因んでつけられたとか...)によるトーク&マジックを披露していただく。最近結成された?コンビですが、高校時代の恩師や授業の思い出を盛り込んだユーモアたっぷりの軽妙なトークと、地引さんの熟練されたマジックを絡めての舞台に、爆笑と拍手喝采で大いに盛り上がった。

今回は欠席者のメッセージをプリントで配布、カラオケも割愛し宴会の多くを歓談の時間に充てました。参加者は各テーブルを巡り近況報告や懐かしい思い出、あるいは可愛い孫の話などに花を咲かせていた。約三時間の宴会も早々と過ぎお開きの時間となり、幹事を代表して、籠谷伸一郎君が四年後の同窓会も「みんな元気で集まろう!」と呼びかけ、名残を惜しみながら「一本締め」で閉会しました。

解散後もホテル内の喫茶コーナーでお喋りを楽しむグループや、まだまだ呑むぞと意気揚々と二次会へ行くグループ等いろいろでした。

ご出席いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。次回もより多くの参加をお願い申し上げます。

幹事代表 竹内 雅昭

<p>Total Printing System ICHIJYO 株式会社 一色 和歌山市湊紺屋町2丁目30番地 (市民会館前) Tel.073-423-6950 Fax.073-423-6955</p>	<p>関連事業 クレイジ〜ミルク ご出産やお誕生日の お祝いに最適のオムツケーキ http://crazy-milk.com/</p>	<p>日本料理 うさ丸 前田利三 (高12期) 有田郡湯浅町序舎前 TEL 0737(63) 2929</p>	<p>法眼米穀店 湯浅 62-2438 法眼 正和 (高13期) 法眼 貞子 (高19期)</p>	<p>橘家 Wedding Hall TACHIBANA 橋爪正文 (高39期) ご予約は TEL 0737-88-7005 FAX 0737-88-7775 URL http://www.tatibanaya.jp</p>
<p>同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。(事務局)</p>				

旧中42期
最後の同窓会

旧中42期生同窓会も、いよいよ幕を閉じるときがきた。2012年9月29日正午から、シーサイド松宮(湯浅町)で最後の会が開かれた。

これまで、県下の各地域持ち回りで、毎年一回、欠かすことなく定期的に開かれてきた同窓会であったが、中心となって世話をしてくれていた人々も次々と鬼籍に入り、あるいはまた様々な事情で世話をしてもらうことが難しくなった。一方また、



集まることのできる人の数も年ごとに少なくなつた。前回、有田市での席上、世話人から、全員に呼びかける従来の形で開催するのは無理であるという意見が述べられた。そういうわけで今回は、最後の催しとして開催された。

さすがにどんちゃん騒ぎの会にはならなかった。戦時下の体験を含んだ波乱に満ちた5年間の学校生活、それに続く60余年の同期生としての数々の思い出に、懐旧の念は絶ちがたい。明るく歓談しながらも、誰もみな、共有している思い出話の終焉を確かめているかのようなしんみりとしたものが漂っている感じの、その故にいつそう切実で濃密な場の雰囲気であった。「県立耐久中学校」の卒業生として、同期生全員に呼びかけて開くこのような同窓の集いは、あるいは私たちの今回の催しが最後になるのではなからうか。

今まで受け継がれてきた会の記録はその廃棄を今回の世話人に一任すること、会費の繰越金は創立160周年記念事業が行われている母校に寄付することなどを決め、「来年は有志で会おう」と呼びかけ合いながら、各人の胸に様々な思いを残して、最後の同窓会は、名残惜しくも散会した。

清水 康夫

高18期
耐久高校「高校18期生同窓会」を開催して

母校創立160周年記念式典が行われた平成24年11月3日。有田市星尾の鮎茶屋で同窓会を開催しました。在校時10クラスのうち、110名の参加でした。近畿・中京・関東より駆けつけて下さいました。式典で18期の名を高めて下さった谷口維紹東京大学名誉教授の講演を聴き、感動の熱を帯びたまま会場に移動した者も多数いました。

開会の挨拶、物故者(40名)への黙祷を捧げた後、宴となりました。乾盃の首頭は谷口教授でした。谷口さんは「二に家族、一に健康、三・四がなくて五に研究」とおっしゃった様に思いますが、(隣人と会話していて記憶が曖昧で大変申し訳ない)第一線の研究者でありながらも、慮りを大切にする谷口



さんらしい言葉だと思えます。司会者の伏木さんの発案で、ジャンケンゲームも楽しみました。

一番の楽しみは日頃疎遠にしていた者同士の語らいでした。在校時、言葉を交わすことなく過ごした仲間とも、打ち解けて話すことができ、同窓の縁を改めて強く思い知らされました。第二の人生に入り、時間にゆとりが生まれた者、現役でがんばっている者……様々な人生。それらを忘れて、今ここに交流する喜びを十分に味わいました。あつという間に時間が過ぎてゆきました。皆の健康と再会を願い、名残り惜しさの中で閉会しました。

福永 幸子

「同窓会館建設」夢の実現にご理解とご協力を!

23 年度決算書

耐久高等学校同窓会

平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日

1. 収入の部

	23 年度予算額	23 年度決算額	増 減	備 考
入 会 金	2,500,000	2,465,000	-35,000	全日制 241 名 定時制 11 名
会 報 広 告	150,000	140,980	-9,020	会報 28・29 号広告代
会 報 協 賛 金	200,000	185,500	-14,500	有田耐久会他より協賛金
寄 付 金	200,000	30,000	-170,000	会館建設基金へ寄付
雑 収 入	30,000	16,836	-13,164	預金利息他
収 入 計	3,080,000	2,838,316	-241,684	
前 期 繰 越 金	1,472,210	1,472,210	0	
収 入 合 計	4,552,210	4,310,526	-241,684	

2. 支出の部

	23 年度予算額	23 年度決算額	増 減	備 考
1. 運 営 費				
会 議 費	50,000	28,735	-21,265	役員会議他
渉 外 費	100,000	20,000	-80,000	タイムス他広告費
負 担 金	100,000	85,400	-14,600	県高等学校同窓会連絡協議会参加費他
旅 費	150,000	12,220	-137,780	関西耐久会総会出席旅費
運 営 費 計	400,000	146,355	-253,645	
2. 活 動 費				
総 会 費	400,000	202,521	-197,479	総会諸費用
母 校 援 助 費	400,000	446,004	46,004	国際交流・全国大会出場祝・文化祭応援
同 窓 会 報 費	900,000	710,615	-189,385	会報 28・29 号印刷・封筒・郵送代
助 成 費	200,000	146,000	-54,000	各支部・期への同窓会援助
雑 費	200,000	108,005	-91,995	講演会謝礼他
活 動 費 計	2,100,000	1,613,145	-486,855	
3. 諸 費				
事 務 費	100,000	30,210	-69,790	切手・はがき他
慶 弔 費	100,000	108,220	8,220	香典・お祝い・生花・弔電
払 戻 金	50,000	30,000	-20,000	転出生
諸 費 計	250,000	168,430	-81,570	
支 出 計	2,750,000	1,927,930	-822,070	
4. 繰 出 金				
基 本 金	250,000	252,101	2,101	利息増 きのくに信用定期へ
積 立 金	200,000	200,000	0	きのくに信用定期へ
同 窓 会 館 設 立 基 金	500,000	500,790	790	利息増 郵貯普通へ
繰 出 金 計	950,000	952,891	2,891	
5. 予 備 費	852,210		-852,210	
支 出 合 計	4,552,210	2,880,821	-1,671,389	
次 期 繰 越 金		1,429,705		

同窓会会計について

※収入…入学時に、入会金として全日制 10,000 円・定時制 5,000 円を終身会費として頂いています。(中途転校・退学の場合は返金)他に同窓生各期や個人からの協賛金や寄付金など。

※支出…クラブ支援、国際交流、講演会、会報などの学校援助に直接・間接に還元。卒業後は、同窓生間や母校の情報を名簿や会報を通じて提供、周年行事の実施、各期の同窓会開催に援助、母校の支援、会の運営費ほか。

絆 卓球部の巻

部活OB・OGたちの
耐久高校卓球部は、昭和24年に創立しました。それから64年、現在の部員数は、2年生4名・1年生4名の計8名です。

本年度は女子部員が2名入部しました。2年間女子部員ゼロという状態にあったため、非常に新鮮で、彼女たちの卓球に対する真つ直ぐな姿勢が男子部員の背中を押してくれているように感じます。

昨年のロンドン五輪では、福原愛、石川佳純、平野早矢香の3選手による卓球女子団体が決勝まで勝ち進み、銀メ



ダルという素晴らしい結果を残しました。彼女たちが凱旋会見で「毎日少しずつ努力することは、いつか大きな形になる」と語っていました。

江戸時代前期の武将である鍋島直茂が『直茂公卿壁書』で同じようなことを言っています。「自らを向上させるには、階段を上るように進め。」人生は階段を登るようなものです。その階段を一段飛びで上るのではなく、一段一段を着実に上っていつてこそ、得られるものは大きいのです。

毎日の基礎練習に時にはじれったく感じることもあるかもしれませんが、そんな風に堅実に歩むことこそが結果を出す近道であることを生徒には身をもって経験してもらいたいと思います。子どもたちが卓球を通して正しく生きる道を学んでくれるよう指導してまいります。今後とも、ご指導ご声援を賜りますようお願いいたします。

顧問 志賀 敬子

Echo!

象山の門に入り、多大な影響を受けて広村に文武両道の「稽古場」を開いたのが「耐久」の始まりです。



同窓 俳壇

古田 一 (高18期)

・慶びが沸き立つ浜辺初苔
・玄閑の稲穂に遊ぶ初すずめ

半 辺 みつ子 (高18期)
・癒やされし柚子湯のゆずの捨て難し

同窓 歌壇

高岡 淳子 (高14期)

・ままごとに生活の知恵少し入れ

子等は母への階昇りゆく

下野 香代 (高20期)

・若き日は怖きものなどなかりしが
守るべきもの出来て変わりし

◎記念式典に参列した在校生の態度がよかったという声が来賓や同窓生から届いています。OBとしてうれしい限りです。

◎NHKの大河ドラマ「八重の桜」が放映中ですが、八重の兄山本覚馬が会津から江戸に出て、当時兵学、砲術では第一人者であった

佐久間象山の門下生になりそこで吉田松陰や勝海舟とも交わりますが、その少し前濱口梧陵翁も佐久間象山の門に入り、多大な影響を受けて広村に文武両道の「稽古場」を開いたのが「耐久」の始まりです。

幕末、日本各地に強い意志を持って行動していた人が多勢いたんだ、と興味を持って見えています。

◎お詫びと訂正(前号30号) P7 すばらしい先輩

酒井敏行

×「京都府立大学」

○「京都府立医科大学」

P14 高6期「関東同窓会の開催」本文8行目

×「案内」↓○「窓外」

◆ご献金に感謝

- ・旧中42期同窓会様
- ・有田高女同窓会様
- ・高校10期同窓会様
- ・高校18期同窓会様

『編集後記』

春光天地に満ち、生命の息吹を感じる季節になりました。

本年度は、創立一六〇周年記念にあたる意義深い年でした。

同窓会名簿の発行や記念グッズの販売、記念事業に関連した懇談会、記念展示等開催し、学校・PTA・同窓会が一体となって取り組んだ十一月三日の「記念式典・記念講演」は、厳粛かつ盛大に挙行できました。

この一年間、多くの皆様方より温かいご支援・ご協力を賜り、お陰をもちまして、それぞれの記念事業が、つつがなく挙行できましたこと衷心より厚くお礼申し上げます。一六〇周年を新たな出発点とし、本校の益々の発展と同窓会の更なる充実を祈念致します。

今回の特集は、同窓会事務局を担当されました元教諭吉田元重氏より、「耐久」の校名や当時の思い出等について執筆いただきました。関東耐久会はじめ各期同窓会、歌壇・俳壇等寄稿されました皆様方、有難うございました。これからもたくさんの方の投稿をお待ちしています。

卒業される生徒の皆さん。皆さんの前途を心から祝福し、今後益々のご活躍を期待しています。本校で学んだ数々の思い出を心の糧として、夢の実現に向かって邁進して下さい。耐久同窓会はいつまでも皆さんを応援しています。

若鮎の二手になりて上りけり

正岡子規